



Title	「懷徳堂史跡マップ」について
Author(s)	草野, 友子
Citation	懷徳堂研究. 2010, 1, p. 145-152
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24646
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「懷徳堂史跡マップ」について

二〇〇九年三月、インターネット上に「懷徳堂史跡マップ」が公開された。「懷徳堂史跡マップ」とは、懷徳堂に関連する史跡を紹介するコンテンツである。本稿では、その作成経緯と具体的な内容について報告する。

一、「懷徳堂史跡マップ」の作成経緯

「懷徳堂史跡マップ」は、懷徳堂記念会創立百周年事業の一環として、湯浅邦弘教授(大阪大学大学院文学研究科)の指示のもと、二〇〇八年の夏より制作を開始した。これまで懷徳堂に関連する史跡について個々に書かれたものはあっても、それらをまとめて地図と共に紹介したものはなかった。そこで、イン

懷徳堂 史跡マップ

Historic spots map

懷徳堂史跡マップは、懷徳堂の主要史跡を Google Map と連携させたインターネット上に表示するものです。メイン画面となる「地図」は、「大阪」「関西」「全国」に大別して表示され、それぞれ拡大・縮小が可能です。また、これと別に関係史跡約30箇所をまとめた「史跡一覧」、ゼアルコースを表示した「おすすめルート」もご利用いただけます。

◆ 地図

「大阪」「関西」「全国」に大別した地図が表示され、それぞれの史跡について写真付きで紹介しています。

◆ 史跡一覧

今朝紹介した約30箇所の史跡を一覧にまとめた表です。それぞれの所在地とアクセス方法も紹介しています。

◆ おすすめルート

大阪市北部には、懷徳堂の史跡が集中しています。これらを効率よく巡るためのゼアルコースをご用意しました。

◆ お知らせ

【2009.03.12】 懷徳堂史跡マップを開説しました。

◆ 史跡マップの制作

懷徳堂史跡マップは、懷徳堂記念会創立100周年事業の一環として、平成20年(2008)夏より制作に着手しました。制作にあたり、(財)懷徳堂史跡マップ推進協議会、大阪大学史跡会、2008年の第3回「懷徳堂史跡マップ」大会、さらに湯浅邦弘教授、中野 ひとみ(神戸大学文学部)にご協力いただきました。お問い合わせは、草野友子(大阪大学文学研究科)までお願いいたします。

◆ 今後の展開

(1) 史跡の調査と整理、点検を行います。
(2) 史跡の調査と整理と合わせて、史跡の調査と整理を行います。
(3) 史跡の調査と整理と合わせて、史跡の調査と整理を行います。
懷徳堂史跡マップは、懷徳堂の歴史と文化を伝えるための重要なツールです。今後も、懷徳堂記念会と連携して、史跡の調査と整理を進めてまいります。

◆ 参考文献

「大阪府史」(大阪府史編纂委員会、1995年)
「懷徳堂史跡マップ」(湯浅邦弘教授、大阪大学史跡会、2008年)
「懷徳堂」(湯浅邦弘教授、大阪大学史跡会、2008年)
「懷徳堂」(湯浅邦弘教授、大阪大学史跡会、2008年)

◆ お問い合わせ

(財)懷徳堂記念会事務局
TEL: 06-6843-4880 / FAX: 06-6843-4880
懷徳堂記念会ホームページへ

草野友子

ターネット上に懷徳堂の史跡を示す地図を公開することになったのである。

「懷徳堂史跡マップ」は、年度ごとに段階的に更新する予定であるが、まずは作業に着手した二〇〇八年度を第一期として、その詳細を報告していきたい。

URL: <http://www.letosaka-u.ac.jp/kaiokudo/historicmap/index.html>

「懷徳堂史跡マップ」作成の際、基礎資料としたのは『懷徳堂事典』（湯浅邦弘編著、大阪大学出版会、二〇〇一年）の第八章「懷徳堂関係施設」である。これを基に、さらに調査を進め、第一期では三十箇所を関係史跡として提示した。史跡についてはすべて実地調査を行った。実地調査と写真撮影は、大阪大学の学生が行った。

第一期・調査メンバー

（括弧内は、二〇〇八年度当時の所属）

草野友子（大阪大学大学院生、中国哲学研究室）

金城未来（同）

中村 翼（同、日本史学研究室）

南浦孝之（大阪大学文学部学生、中国哲学研究室）

懷徳堂は建物自体が現存せず、記念碑が残るのみである。そこで、第一期では大阪府内に数多く残る懷徳堂ゆかりの人物の墓碑を中心に調査を行った。また、他の私塾の跡地や、懷徳堂に関する資料を所蔵する図書館や博物館などの関係施設も史跡として取り上げることとなった。

■史跡一覧（第一期）

（大阪・大坂）

・記念碑 懷徳堂旧趾碑、重建懷徳堂跡

・墓碑 神光寺（三宅石庵・春楼の墓）、誓願寺（中井一族墓所）、九品寺（五井持軒の墓）、実相寺（五井蘭洲の墓）、浄春寺（麻田剛立の墓）、善導寺（山片蟠桃の墓）、隆専寺（早野仰斎・橘隧・思斎の墓）、万福寺（三村崑山の墓）、梅松院（越智高洲・片山北海の墓）、西照寺（富永芳春・仲基の墓）

・私塾 含翠堂跡、洗心洞跡、泊園書院跡、適塾

・施設 大阪大学附属図書館、大阪大学懷徳堂記念会事務局、大阪大学懷徳堂センター、大阪大学総合学術博物館・待兼山修学館、大阪大学中之島センター、大阪府立中之島図書館、池田市立歴史民俗資料館

市立歴史民俗資料館

（関西）

- ・兵庫県 たつの市立龍野歴史文化資料館、照円寺、投石
- ・京都府 伊藤仁斎宅（古義堂） 跡並びに書庫、冷声院
- ・奈良県 古梅園

（全国）

- ・東京都 湯島聖堂 昌平饗・昌平坂学問所

二、「懷徳堂史跡マップ」（第二期）の構成

「懷徳堂史跡マップ」は、懷徳堂の主な史跡を Google Map と連動させ、インターネット上に表示するというシステムである。このシステムの作成は、凸版印刷株式会社の協力を得た。

構成は、メイン画面である「地図」、関係史跡をまとめた「史跡一覧」、モデルコースを表示した「おすすめルート」の大きく三つに分けられる。

（1）「地図」

「大阪」「関西」「全国」に大別して表示され、それぞれの史跡について写真付きで解説する。

「大阪」「関西」「全国」別の地図は、それぞれ地図左上のバーをドラッグすることにより、拡大・



縮小ができる。さらに、Google Mapの特性を活かし、「地図」「航空写真」「地図＋写真」の三種を閲覧することができる。



地図上のマークをクリックすると、下部に詳細な解説と関連写真が表示される。また、地図上の吹き出しに簡易説明が表示される。



懷徳堂旧址碑(かいとくぎゅうしひ)

旧懷徳堂の校舎跡に建てられた石碑。大正七年(1918)、重建懷徳堂の竣工を記念して、旧懷徳堂跡(現在の大阪市中央区今橋3丁目)に建てられた。吉村天因の撰文、中井木庵麻呂(つぐまろ)の揮毫(きぎょう)による。昭和三十一年(1956)、日本生命本店ビルの新館に併し、同ビル南側壁面に移された。碑文の向かって右側に、次のような由来が記されている。

この地は徳川時代の学校として名高い懷徳堂の跡である 享保十一年の開学から明治二年の開校まで百四十十年の間 大阪文教の中心であった 大正の初年に先達の偉業を顕彰して記念会が設立されたので 当地にも協賛したので 碑を立てた 撰文は記念会の創設者吉村天因先生 揮毫は懷徳堂第二代の生主中井製庵先生の玄孫たる中井天生先生である

碑文は次の通り(原文は漢文)。

懷徳堂は一に大阪学問所とす。享保十一年、製庵中井先生、同志五人と前に譲りて創設せるものなり。石庵・龍洲・春楼・竹山・鹿軒・藤泉・寒泉・菊園の諸先生相繼いで字を譲り百四十余年を經たりしが、明治二年堂廢され跡寂(こまじ)の迹あるを挽起しと四十余年なり。大正五年主人買(かい)戻(はか)り復興唱(な)ぐの上(う)はとりに重續し、古を參じ今を對(く)み茲(ここ)に(びんぶん)復興せり。是(こ)に於て石を旧址に樹て後人にして式(き)き(しょう)くする所有らしむ。大正西村時彦 浪華中井天生 日本生命株式會社建

所在地: 大阪市中央区今橋3丁目
アクセス: 市営地下鉄「淀屋橋」駅8番出口より徒歩5分



(2)「史跡一覧」
関連史跡を一覧にまとめ、それぞれの所在地とアクセス方法を紹介している。左側が目次となっており、項目をクリックすると、右側に該当箇所の情報が表示される。(画像は第二期(二〇〇九年度)更新版のもの)

おすすめルート

懐徳堂史跡「墓碑めぐり」

大阪市内には、懐徳堂に関連する人物の墓碑が数多くあります。
大阪を散策しながら、懐徳堂ゆかりの人物を訪ねてみてはいかがでしょうか。

左側にモデルコース、右側にそれに対応する地図を表示しています。モデルコースの各地点の名称をクリックすると、その付近で地図が解説されます。

- 出発地：阪急・梅田駅
徒歩7分
- 東梅田駅
地下鉄谷町線：6駅
- 西天王寺前夕陽ヶ丘駅
徒歩4分
- 浄春寺・麻田蘭立の墓
大阪市天王寺区夕陽丘町
徒歩3分
- 西願寺・富永芳春・仲基の墓
大阪市天王寺区下寺町
徒歩5分
- 万福寺・三村蓮山の墓
大阪市天王寺区下寺町
徒歩4分
- 隆寿寺・早野仰斎・橋本・忠高の墓
大阪市天王寺区生玉町
徒歩15分
- 麻生寺・中井一休墓所
大阪市東区玉造南4丁目
徒歩12分
- 美相寺・五井露洲の墓
天王寺区上本町5丁目
徒歩3分
- 梅松院 越智高洲・片山北湖の墓
大阪市天王寺区城南寺町
徒歩15分
- 谷町六丁目駅
地下鉄谷町線：3駅
- 南森町駅
徒歩6分
- 善導寺・山片曜桃の墓
大阪市北区力町
徒歩2分
- 九段寺・五井路軒の墓
大阪市北区心1丁目
徒歩20分
- 東梅田駅
徒歩7分
- 到着地：阪急・梅田駅

【見どころ】
中井蘭の墓所である豊崎川口は、中井蘭庵・竹山・周軒・東園・橋本・柳屋萬泉など、懐徳堂関係者の墓、約30基が現存しています。
懐徳堂にゆかりの墓を中心に、懐徳堂史跡「墓碑めぐり」の全コースで付いています。
また、各駅周辺、主要道路の沿道などにも、数多くあります。

(3)「おすすめルート」
懐徳堂の史跡を効率よくめぐるためのモデルコースを提示している。第一期では、懐徳堂史跡「墓碑めぐり」をおすすめルートとして提示した。大阪市内には懐徳堂にゆかりのある人物の墓碑が数多くあり、その場所が密

集しているためである。

密集地である南森町周辺をA、谷町周辺をBとし、それぞれ詳細な地図が表示されるようになっていく。



三、第二期（二〇〇九年度）の作成

第一期（二〇〇八年度）作成の際に残った課題は、①さらに史跡の調査を進めて点数を増やす、②「史跡一覧」からメイン画面（「地図」）にリンクできるようにする、③おすすめルートを増やす、の三点である。①については、大阪府内であっても諸般の都合で調査に行けなかった史跡が多数あった。特に重建懷徳堂に関する史跡は、第一期ではほとんど入れられなかった。また、大阪にある史跡を最優先としたため、関西・全国の史跡が非常に少なくなってしまった。②は、システム上の問題でできなかったことである。③については、おすすめルートが一つしか提示できなかったためである。

それを受けて、二〇〇九年夏より第二期作業が始まった。調査メンバーは、矢羽野隆男教授（四天王寺大学人文社会学部）と草野友子（日本学術振興会特別研究員）の二名である。

第二期では、関係史跡十六箇所を新たに追加した。懷徳堂と深い関わりのある土地や、懷徳堂と交流を持った人物に関する史跡なども加えられている。

■史跡一覧（第二期追加分）

（大坂・大阪）

・墓碑 正通院（蔀関月の墓）

・私塾 心学明誠舎跡

・施設 大阪市立中央図書館（木村兼葭堂邸跡）、大阪ハリストス正教会、涓泉亭（萱野三平旧邸）

（関西）

・兵庫県 小戸霊園（中井木菟麻呂の墓）、龍野城、円光寺、興福寺、敬業館、安志藩陣屋跡・開善寺、杉坂峠

・京都府 長楽寺（頼山陽の墓）、高山彦九郎・皇居望

拝之像

（全国）

・東京都 ニコライ堂（東京復活大聖堂）

・岡山県 稲垣子華碑

また、新たなおすすめルートとして、「中井履軒『昔の旅』〜孝子稲垣子華を訪ねる道〜」（調査・作成・矢羽野教授）を提示している。これは、中井履軒が実体験にもとづいて著した紀行体の物語『昔の旅』に描かれた場所や、懷徳堂にゆかりのある土地をたどるというものである。

さらに、システム面で問題となっていた「史跡一覧」と「地図」とのリンクが実現されるに至った。

調査や作業には時間と労力がかかるが、内容を逐次更新できるというHPの利点を生かし、継続した更新を行っていけば、充実したマップとなっていくであろう。

ただし、インターネット上に公開するのみで止まってはならない。「懷徳堂史跡マップ」の情報に基づいて実際に史跡を散策する場合、現段階ではその情報を逐一印刷するか、閲覧者自身でメモを取るといった方法しかない。したがって、今後はこの「懷徳堂史跡マップ」のデータを元に作成した、「紙」媒体でのマップの作成が必要となろう。

「懷徳堂史跡マップ」の「地図」をクリックすると、大阪府内の多くの史跡ポイントが出現する。これは、大阪府内に数多く史跡があることを視覚的に示していると言える。「懷徳堂史跡マップ」は、懷徳堂の足跡を辿るための手段として、ここに誕生したのである。